



YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

RIテーマ「奉仕を通じて平和を」Peace Through Service

2012-13年度 RI会長／田中作次 RI.D2590ガバナー／露木雄二 横浜旭RC会長／山崎良三

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-2 後藤ビル2F
TEL.045-365-3273
FAX.045-365-3132
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp
〒241-0821

例会場 二俣川相鉄ライフ4Fコミュニティサロン
例会日 毎週水曜日／12時30分～1時30分



2013年4月24日 第2100回例会 VOL. 44 No. 39

- 司会 SAA 内田 敏
- 開会点鐘 会長 山崎 良三
- 斉唱 それでこそロータリー
SL 五十嵐 正

■出席報告

会員数	35名	本日の出席数	24名
本日の出席率	85.71%	修正出席率	100%

■本日の欠席者

漆原、佐藤、増田、田川

■他クラブ出席者

佐藤（横浜鶴峰 RC）

福村、松本（横浜戸塚 RC）

■ビジター

依田紀久子殿

（地区副幹事・横浜瀬谷 RC）

樋口 明殿

（地区新世代奉仕委員長・神奈川 RC）

亀ヶ谷純子殿

（地区ローターアクト委員・横浜港北 RC）

■ゲスト

枅崎 一之殿

（地区ローターアクト委員長・横浜東 RC）

鈴木 宗太殿

（次年度ローターアクト地区幹事

・横浜東 RAC）

■会長報告

本日4月24日は、2,100回目の節目の例会に

成りました。今回で今年度は39回目に成り、残り8回で次年度会長にバトンタッチとなります。残り少ない中でこれからの大きい活動は6月15日、16日の岩沼RCとの合同例会になろうかと思えます。

先週時点で28名の参加という事で想像以上の人数で、これも復興支援部会委員長の働きだと思えます。2520地区ガバナーも出席されると聞いていますが、こちらからもガバナー補佐が参加されると言う事になりまして益々盛り上がり参りました。先方の岩沼RCも受け入れ準備に忙しい思いをして大変なのではと心配になるくらいです。是非今度は新しく交流が生まれ今後の合同の活動に一層の活力がましていく様に願っています。

○地区関係

1) ロータリー為替レート変更のお知らせ

2013年5月より 1ドル=98円

2) ロータリー平和シップ委員長より

2014-16年ロータリー平和フェロー

候補者募集のお知らせ

クラブ応募締め切り 5/21

地区応募締切 5/30

■幹事報告

1) 例会臨時変更のお知らせ

○大和ロータリークラブ

日時 4月29日(月)祝日休会

日時 5月6日(月)祝日休会

日時 5月20日(月)→26日(日)

家族例会に振替のため休会

○横浜南ロータリークラブ

日時 4月27日(土)休会

日時 5月4日(土)祝日休会

○横浜南陵ロータリークラブ

日時 5月2日(木) 休会

■ 5分間情報

「海自艦へのレーダー照射事件」

齊藤 善孝

- ・海自護衛艦へのレーダー照射、中国共産党が指示
- ・砲身向け威嚇も許可
- ・複数の日中関係者が明らかにした
- ・海自への威嚇指示 1月14日
- ・1月15日 安部首相が尖閣諸島周辺での領域警備で対抗措置を強化するよう指示
- ・日本政府の対応に中国側が強く反発
- ・党中央が威嚇の検討を指示
- ・軍事委はレーダー照射するか、
火砲の砲身を向けることが考えられると回答
- ・党中央はこれを認め、実施時期、場所、手順については「艦長判断」に委ねる方針を示す
- ・1回目のレーダー照射 1月19日
(海自へ川に対して)
- ・2回目のレーダー照射 1月30日
(護衛艦に対して)

4月24日付 産経新聞より

■国際親善奨学生島田さんよりお便り

2012-13年度国際親善奨学生 島田 彩子

(フィンランド、オウル大学教育学部)

「フィンランドの春」

ロータリークラブの皆様、ご無沙汰しておりますが、皆様お元気でしょうか。

横浜は桜が早かったものの、気温が低い日もあり、寒暖の差が大きい春となったと家族から聞いております。

ここフィンランドでは春は非常にゆっくりと、でも確実に訪れています。同じ「春」なのに日本とはこんなに違う訪れ方をするのかと、ロータリーの皆様のご支援のおかげで驚きながらも素晴らしい体験をさせていただいております。ロータリーの活動や大学での勉強からはそれてしまいますが、今日はそんなフィンランドの美しい春についてご報告いた



します。

気温がまだ零下12度だった2月、初めに気が付いた春の気配は日の長さでした。北緯65度のオウルでは、冬の間、日が非常に短くなり、一日に数時間しか明るくなりません。それもほぼ分厚い雲に覆われているのです。

2月5日、秋以降初めて、学生寮の私の部屋の中に薄日が差し込みました。それから日照時間は日に日に伸び、今日の日没はすでに21時過ぎです。お日様が出て明るい空になると同時に、積もっていた雪が徐々に溶け始めて「つらら」が見えたとき、それも春の印でした。寒い冬の間は雪がとけないのでつららができないのです。写真のようにたくさんの大きいつららを見たのは初めてのことです。

そして冬の間、南へ行っていた何種類もの鳥たちが徐々にオウルにも戻り、鳥のさえずりを耳にすることも多くなりました。このように色々な春の気配があっても、それでも気温は常に氷点下。長い冬を通してオウルの海は凍っています。なんと、街のある岸边から凍った海の上をスキーで移動し、3km向こうの小島まで行ってきました。日本では考えられないことです。写真は何もない雪野原ですが、これが実は海の上なのです。しかし春は空にはやってきても、なかなか地上までは届きませんでした。ところが4月に入ってからやっと雪がとけはじめ、ほぼ半年ぶりに地面が見えたときは思わず写真を撮ってしまいました。先週は初めて本格的な雨が降り(冬の間は雪なのです)、その雨がますます雪をとかしていきました。

フィンランドの人々は雪に囲まれていても太陽が出ると嬉しくて、屋外でバーベキュー



を始めてしまいます。まだ草花は生えてきませんが、これから新しい生命が次々と生まれてくるであろう季節をゆっくりと迎えていくことを楽しみにしています。

今日はこれからホストクラブの例会に参加いたします。今週の議題は7月に始まる新年度からの新しいロータリー財団とそれに沿った活動について。今後、私のホストクラブの活動もより詳しくご報告したいと思っております。

それでは皆様、お身体にお気をつけてお過ごしください！

■ニコニコBOX(会員敬称略)

樋口 明殿(地区新世代委員長)／本日はロータリーアクトキャンペーンとして、横浜東ロータリーアクトクラブの鈴木宗太君が卓話をさせていただきます。貴クラブ会員の皆様におかれましては、是非ロータリーアクトへのご理解を深めていただきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

枡崎一之殿(横浜東RC)・鈴木宗太殿(横浜東RAC)／この度はロータリーアクトについてお話しする機会を賜り、誠にありがとうございます。今日はぜひロータリーアクトの生の声をお聴き下さい。そして今後も引き続き新世代についてインターアクト同様ロータリーアクトにもご支援をよろしくお願い致します。

亀ヶ谷純子殿(横浜港北RC)／ロータリーアクト活動へ更なるご理解とご参加をお願いするロータリーアクトキャンペーン応援の為お邪魔しました。よろしくお願い申し上げます。

依田紀久子殿(横浜瀬谷RC)／本日はお世話になります。ロータリーアクトキャンペーンで

まいりました。又、先日のAKSゴルフではお世話になりました。

山崎 良三／本日はロータリーアクト委員長の枡崎様、次年度地区幹事の鈴木様、副幹事の依田様、地区新世代委員長の樋口様、地区ロータリーアクト委員の亀ヶ谷様、お忙しい中ようこそいらっしゃいました。

青木 邦弘／枡崎様、鈴木様、本日は宜しくお祈りいたします。

安藤 達雄／地区ロータリーアクト委員長の枡崎さん、ロータリーアクトの鈴木さん、本日はお忙しい所卓話にお出で頂きありがとうございます。

安藤 公一／枡崎様、鈴木様、依田様、樋口様、亀ヶ谷様ようこそいらっしゃいました。本日の卓話よろしくお祈り致します。

五十嵐 正／先日のロータリアン展には多数の会員にご来場いただき有り難うございました。その際頂きました貴重なご意見を今後にかかしていきたいと思っております。

吉原 則光／①枡崎様、鈴木様、ご多用のところ卓話いただき有り難うございます。楽しみにしております。②五十嵐さん、素晴らしい絵画展鑑賞させていただき有り難うございました。益々のご精進を！

岡田 清七／枡崎さん、ロータリーアクト鈴木さん、卓話楽しみに聞かせていただきます。

倉本 宏昭／地区RA 枡崎様、鈴木様本日はよろしくお願い致します。瀬谷RC 依田様、神奈川RC 樋口様、港北亀ヶ谷様、残り少なくなりました、一年間のお疲れ様でした。

市川 慎二／枡崎一之様、鈴木宗太様、本日はお忙しい中お越し下さいまして、ありがとうございます。卓話宜しくお祈り致します。

福村 正／松本さん、先日は大変お世話になりました。ご家族皆感動していました。

北澤 正浩／枡崎様、鈴木様卓話楽しみにしております。

■卓話 ロータリーアクトについて

○横浜東ロータリーアクトクラブ

鈴木 宗太

横浜東ロータリーアクトクラブ、次年度地区幹事を務めます、鈴木宗太と申します。横浜旭RCの皆さまにロータリーアクトとはどういったものなのか、私のこれまでの活動をお話し



しながらご紹介したいと思います。

まず私がローターアクトに入会したきっかけですが、私の父が提唱クラブである横浜東RCのロータリアンであることから、先に兄が横浜東RACに入会しました。そしてローターアクトの魅力を知った兄が、私に入会を強く勧めたことから昨年の5月、入会に至りました。入会してからちょうど1年経ちますが、これまで日々充実した活動を行ってまいりました。

私は今年度、クラブでは専門知識開発委員会に所属しております。専門知識開発委員会とはロータリーで言う職業奉仕委員会に相当するものですが、その委員会が担当した例会がこれまでに4回ございますので順にご説明します。

1回目と4回目の担当例会では、「横浜東会員の専門分野を知ろう！」と題し、いつも何の仕事をし、何の勉強をしているかについて会員にスピーチしてもらいました。

弁護士や財務省勤務の会員、化学について学んでいる会員やNPOなどについて学ぶ学生の会員などに話してもらい専門分野を共有することができました。例会を通して専門分野を共有することでクラブも発展すると考え、これらを企画しました。

2回目の担当例会では、「カンボジアについて学ぼう」という例会を企画しました。

カンボジアについて、またカンボジアへの奉仕について、ロータリアンの方の卓話を交えながら例会を行いました。カンボジアを取り上げたのには理由があります。

それは、現在当クラブが行っている、使わなくなった楽器をカンボジアの子供たちに送

るというカンボジア音楽支援プロジェクトを行っているからです。楽器集めに際しては、多くのロータリアンの方々や、インターアクトの方々にもご協力頂きました。

そして、私も2月25日から28日までカンボジアに行っていました。プロジェクトの実行委員長でもある当クラブの佐々塚碧会員も同行し、現地で小学校を訪問し、楽器を直接届け、子どもたちとの交流をしてきました。

ローターアクトの奉仕活動は、自分のやりたいことができます。それと同時に活動するにあたって、自分自身も同時に成長させることができるというのが大きな魅力の一つとなります。

3回目の担当例会では、「そうだ、他クラブへ行こう」という例会を企画いたしました。

今年度の当クラブのクラブターゲットは「殻をやぶって飛び出そう」ですが、この殻をやぶるとは、自分のクラブの例会に参加するだけではなく、積極的に他クラブにメイクアップしようという意味合いも込められております。例会では、地区内にあるクラブの会長さんをお招きし、例会案内を行っていただいたり、他地区の例会に参加した会員に感想を話してもらったりなどしました。

ローターアクトの大きな魅力のもう一つに、自分のクラブ以外の人たちと仲間を作ることができるということがあります。それに代表されるのがローターアクト年次大会です。

これは各地区、年に一回開催される大会で、いろんな地区のアクターと交流することができます。自分がローターアクターであるということだけで、日本全国に仲間を作ることができます。これはロータリーにも共通している部分だとは思いますが、20代の私にとってそれは、とても貴重な経験で、自分自身が成長していると実感することができます。

また、2月に熊本で全国ローターアクト研修会が行われました。これは全国のアクターが一堂に会するため、各地で出会ったアクターと再会することができました。

最初に出会った時より、2回目に会ったほうが、「久しぶり」、「元気だった？」というようにお互い声を掛け合い、より絆を深める

ことができました。知り合った仲間に2回目、3回目と、また再び出会うことができるのがアクトの魅力的な点であるといえます。

さらに、ローターアクトは世界各地にあるので、これまでいろんな国のアクターと交流してまいりました。

3月には、台湾のアクターが当地区を訪れ、受け入れを行いました。言葉はあまり通じなくても、横浜を楽しんでもらえました。

そのほかマレーシアやメキシコのアクターと交流したり、つい先日はバルバトスという国のアクターとも一緒に活動したりしました。改めてローターアクトは世界中にあると実感しました。

続いて地区ローターアクトよりお知らせです。6月9日(日)にローターアクト地区協議会がございます。石川町の労働プラザにて行われ、各クラブ活動報告や、私たち次年度地区役員紹介、さらに新たに発足するベイフロント横浜 RAC の認証状伝達式も行いますのでぜひご参加ください。

そして次年度には、年次大会が7月7日(日)に行われます。こちらもお知らせのほどよろしくお願い申し上げます。

最後に、ローターアクトはロータリアンの皆さまのご支援、ご協力を欠かすことができません。本日を機に、ローターアクトに興味を持って頂き、アクターと、ともに活動して頂きたいと思っております。

地区内にあるクラブの例会だけでなく、先ほど申した地区行事にもご参加頂ければと思います。

これからもアクト活動を精一杯頑張りますのでご支援のほど宜しくお願い致します。ありがとうございました。

○地区ローターアクト委員長 柘崎 一之

(横浜東 RC)

ローターアクトは、ロータリーの活動を年齢的に拡大しようとするものです。若いうちからロータリーの活動に参加して、ロータリーを肌で学んでもらうといふことです。私共ロータリアンは、ロータリーの心と技を若きローターアクターに伝授する、伝えることにより、彼らが世界の平和に貢献できるやうな優れたリーダーに育てて行くといふ使命があ



ります。これはまたロータリーの歯車をずっと廻し続けてくれる仲間を作って行かうといふ活動でもあります。

私共ロータリアンは、自分を磨き高め、自身が立派になって彼らの手本となり模範を示すことが必要です。毎年九月の新世代月間の標語である「各ロータリアンは青少年の模範」(Every Rotarian an Example to Youth) とある通りで、これは9月が過ぎれば終るといふものではありません。

従ってこの活動はロータリアンが参加しなければ本来成り立たない活動であり、意味がないのです。ロータリアンはメンター(師匠)として、彼らと共に活動する、共に汗を流す、そして互ひに学び合ひ磨き合ひ高め合ふ、ということが大切なのです。共に活動しなければ、彼らにロータリーの心と技を伝えて行くことはできません。

ロータリアンとローターアクターが、時間と情報を共有し、信頼関係を深める、そして相互の成長を加速して行かう、といふのがローターアクトの活動です。ロータリアンの皆様、RACを提唱してゐるみに拘らず、ぜひローターアクトの活動に参加して下さい。

以上のことは、本来ロータリーの心と技をそなへた未来の指導者を育てる活動といふことで、新世代プログラム、インターアクト、ローターアクト、青少年交換、RYLAのすべてに共通することです。「新世代の育成なくして、世界の未来もロータリーの未来もありません」。

これからも新世代の活動への御理解御支援をよろしくお願い致します。

■ローターアクトクラブ (RAC) とは？

18～30歳（厳密には、30歳になった後の6月30日まで）の若年成人を対象に、奉仕を志向する市民と指導者を育成するため、ロータリークラブ (RC) が提唱する世界的な団体です。地域社会を基盤とする RAC と、大学を基盤とする RAC の 2 種類の RAC があり、1 クラブは、少なくとも 15 人の創立会員でスタートすることが望まれています。「ローターアクト (RA)」の名称は、「ロータリー」(Rotary) と「行動」(Action) からきています。

・ローターアクトクラブの誕生

1960年代に入って、世界中の青少年が、共に活動できるような組織をつくろう、という機運が高まりました。1962年、国際ロータリー (RI) 理事会により、まずインターアクトプログラムが宣言され、インターアクトクラブ (Interact Club、IAC) が次々と世界各地に創立していきます。しかし、インターアクトは 14～18歳の高校生の年代が対象で、卒業と同時に会員資格が失効。これを継続するものとして、1968年1月に、当時のルーサー H. ホッジス RI 会長により、「ローターアクト構想」が打ち出されたのでした。

1968年、RI 理事会は、初めて RAC の発足を認証。世界最初の RAC は、アメリカ・ノースカロライナ州ノースシャーロット RC の提唱により、1968年3月13日に結成された、ノースシャーロット RAC です。

・日本最初のローターアクトクラブ

日本最初の RAC は、ノースシャーロット RAC と同じ 1968年に創立した埼玉県国際商科大学 RAC (現川越 RAC) です。当時の第 357 地区 (埼玉県・千葉県 現在は第 2570 地区・埼玉県) の川越 RC の提唱で、6月1日に発足。創立会員 12 人、例会日は、毎週金曜日でスタートしました。

2009年9月末現在、日本のローターアクトクラブの数は 280、会員数は約 6,400 人です。

・ローターアクトの目的

若い男女が、個々の能力の開発に当たって役立つ知識や技能を高め、それぞれの地域社会における物質的あるいは社会的なニーズと取り組み、「親睦と奉仕活動を通じて」全世界の人々の間に、よりよい信頼関係を推進するための機会を、提供することにあるとされています。

この「親睦と奉仕活動を通じて」は、ローターアクトの標語であり「奉仕を通じての親睦 (Fellowship Through Service)」として採択されていますし、RA のプログラムは、この標語を中心として展開されます。

・ローターアクトの目標

- 1) 専門技術および指導能力を養成すること。
- 2) 個人の価値を認める考え方に立脚して、他人の権利を尊重する観念を養い、あらゆる有用な職業の道徳的水準および品位を保持し推進すること。
- 3) 若い人々に地域社会をはじめ世界各地のニーズと懸念事項を提起する機会を提供すること。
- 4) 提唱ロータリー・クラブと協力して活動にあたる機会を提供すること。
- 5) ロータリーにおける将来の会員となるよう若い人々の意欲を高めること。

(ロータリー章典 41.020.)

つまり、こうした目標をもって、ローターアクトは 3 つの開発——専門知識、指導能力、奉仕プロジェクト、に努めるプログラムを編成するのです。

・ローターアクトクラブとロータリークラブ

諸外国、特に南米では、ローターアクトからロータリアンになる比率が高いようですが、日本でもローターアクトがロータリアンになったという例はあります。

「RA を提唱すると、お金がかかる」「つくった後の維持が大変なのは…」という考えが、ロータリアンにあるようです。確かに提唱 RC は、RAC が結成されたときに、RI へ加盟金として米貨 50 ドルを納めたり、地区レベルの研修会などが行われるときには、彼らの参加費用を負担しなければなりません。しかし、RA の会合に関する費用は、RA 自身の責務で担われることになっており、すべてを RC が負担する義務はありません。

今日の若い人は、明日は地域社会の指導者です。RI が唱え続けている RA の意義や、実際に素晴らしい活動を行っている、若い RA の姿を思い起こし、ローターアクトプログラムに参加してみたいはかがでしょう。

■次週の卓話

一般卓話 矢田会員

「映像で見る昭和と戦争」

週報担当 安藤 達雄